

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第 43 回全国海水養殖シンポジウム -2月6日(火)・大分県-

2月6日(火)、大分県別府市に於いて、第43回全国海水養殖シンポジウムが、「生産者のプライド～持続可能な魚類養殖への取組～」をテーマで開催され、全国から魚類養殖業者とその関係者395名(三重県からは12名)が参加した。

開会にあたり、(社)全国海水養魚協会の長元信男会長の挨拶の後、大分県による「かぼすを使ったブリ及びヒラメ」の取組に関する報告、角上魚類株式会社の柳下社長による「消費者の満足度を高めるための商品販売」と題した講演があった。その後、養殖魚需給検討会の結果についてと代表者会議の報告もあり、生産者が安心して養殖に取り組めるよう、会場から意見や要望が出され閉会となった。なお、44回目となる次年度のシンポジウムは、鹿児島県で開催されることとなっている。

県内養殖業者が三浦センター視察 -2月22日(木)・神奈川県三浦市-

2月22日(木)、三重漁連・三浦活魚流通センターにて魚類養殖広域浜プランによる同センターの視察が

実施され、県内魚類養殖業者20名以上が参加した。

同センター到着後、三重県漁連・池田常務より挨拶があり、その後、勉強会として「三浦センターを活用した取組」等についてスライドを用いた発表がなされた。

勉強会終了後、2班に分かれて、養殖魚の畜養施設とセンター内の加工場の視察を行った。畜養施設については海上生簀を見学し、船やトラックによって運ばれてきた養殖魚の受け入れ体制や東京湾と相模湾に挟まれた地理的特性等が説明された。加工場の見学では、HACCP対応でブロック分けされた製造ラインや加工機械等を見学した。最後に視察内容についての質疑応答の場があった。



勉強会



海上生簀の見学



加工場の見学



視察後の質疑応答

**漁業経営セーフティーネット構築事業
-平成 30 年度の申込について-**

漁連指導部では、来年度の漁業経営セーフティーネット構築事業の新規申込と、継続加入者の数量設定申し込みを受け付けています。(3月23日提出期日)

同事業は、燃油と配合飼料の価格高騰に備え、国と漁業者とがあらかじめ積立を行い、価格が一定の基準を超えた場合に積立金の範囲内で補填金が交付されるものです。

また、このセーフティーネット事業に加入していることが要件となっている補助事業が多くなっていますので、継続となる漁業者、新規となる漁業者ともに極力、当事業に加入することをお勧めします。

なお、本事業は期中の加入受付がなく、今回の申込時期を逃すと来年度まで加入することが出来ませんのでご注意ください。

**錦漁師塾短期研修が開催
-3月10日(土)~12日(月)・大紀町錦-**

度会郡大紀町錦地区は、昔から大型定置網漁業や魚類養殖業が盛んに行われている漁業の町。

同地区では、漁業の将来を担う意欲ある漁業者候補を探すため、3月10日(土)から2泊3日の短期研修が初開催される。

なお、2月上旬に募集を締め切り、県内外から男性2名が研修を受ける予定となっている。

**早田ブリまつり開催決定
-3月17日(土)・尾鷲市早田町-**

今年で第5回目を迎える「早田ブリまつり」は、3月17日(土)10時からの開催に決定しましたので、お知らせします。たくさんの方のご来場を、お待ちしております。

【主な予定】

- 3月6日(火)
- ・三重県女性連役員会(津)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。